

そよかぜだより

2015 6月号

そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com>



六月（水無月）

いよいよ関東地方も梅雨の時期となりました。

梅雨の語源の一つとして、「この時期は梅の実が熟す頃である」といって説明されています。

梅雨の時期、特に長雨の場合は日照時間が短いため、最低気温と最高気温の差が小さく肌寒く感じたり、晴れて気温も湿度が高い「梅雨晴れ」があったりと気温の変化が激しく体調を崩しやすいです。また、気温と湿度が高くなることにより熱中症も起こりやすくなりますので、無理をせず、しっかりと体調管理をして、梅雨を乗り切りたいです。



6月・7月の担当医診療変更のお知らせ

6月の予定

院長、学会出席の為
6月26日（金） 休診
伊藤 誠康先生
6月12日（金） 休診
6月16日（火） 診療

7月の予定

院長
7月11日（土） 休診
伊藤 誠康先生
7月10日（金） 午前のみ休診
7月11日（土） 診療
7月31日（金） 午後のみ休診

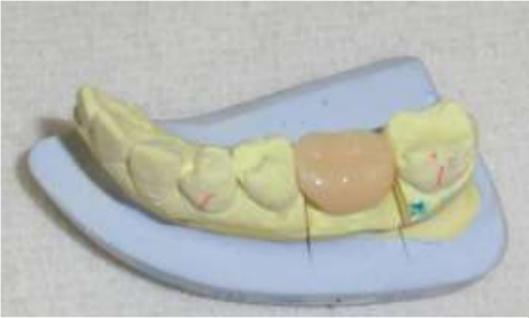


白い被せ物

今回は、比較的小さなむし歯や、歯の色調合わせに用いられ、直接詰めることのできる合成樹脂（コンポジットレジン）による修復方法についてお伝えしました。今回からは、比較的大きな歯の欠損や色調を合わせる方法についてお伝えしたいと思います。

これらの修復方法は、歯の全体を覆う方法（クラウン）と、部分的に覆う冠（インレー、アンレー）とに分けられます。この方法は一度、歯の型を採取し、模型を作り、口腔外で技工作業によってクラウン、アンレー、あるいはインレーを製作します。後日、お口の中で微調整し、装着します。従って、コンポジットレジンによる修復処置は一日で終了しますが、これらの方法は最低、2日以上の治療期間がかかります。

写真には、上段は歯全体を覆う冠を被せるために歯を削り、専用の材料（印象材）で型を採った写真です。中段は、型を採った部分に石膏を注ぎ、模型を製作し、その模型上で製作した合成樹脂の冠を示す写真です。下段は製作した冠を歯に専用接着材で付けた写真です。
今回はどのような材質の冠があるか、社会保険給付があるかないかについてお伝えする予定です。



てるてる坊主って？

てるてる坊主とは、晴れることを祈ってつるす紙や布で作った人形の事です。一度は作ったことがある人は多いと思います。この風習は中国から入ってきたといわれています。中国では、白い紙で頭を作り、赤い紙の服を着せ、ほうきを持たせた女の子の人形をつるしていたようです。ほうきを持っているのは雨雲を掃き、晴れの気を寄せるためだそうです。

一部地域などでは逆に倒立させた状態で飾ると、明日の天気は雨になると言われたり、てるてるぼうずに顔を描くと雨になるとするようです。

晴れを願う前日、てるてるぼうずをつるしてみるのもいいかもしれませんね。

院長の

今年は、3月に日照時間が少なく、野菜の発育が悪く、高騰したニュースが先日の出来事に感じます。しかしながら、5月に入り暑い日が続き、雨の少ない日が続き、また作物に悪影響をもたらしています。

最近の気候は春、秋が少なく、亜熱帯気候になっているようです。美しい日本の四季それぞれの特徴ある景色や風景などが今後損なわれないかと感じています。

一部の予報では今年の梅雨の時期は空梅雨という予想をしている方もいるようです。作物の不作だけではなく、健康を害する方も多くなるのでは危惧しております。

このように、ちょうどよい温度の日が少なく、頼るものとしてエアコンが挙げられます。決して悪いものではありませんが、上手な使い方、水分の摂取、さらには適度な運動を保つことによって健康な体を維持しましょう。